

ゴルフの鈴木弘一プロ 賞金ランク十四位に

プロスポーツ界で著名な富士市民と言え、ゴルフの鈴木弘一さん（船津・三十二歳）。

昨年は日本シリーズや東海クラシックなど主要な大会に出場し、賞金ランキング十四位・二千九百四十万円を獲得しました。

四月から十二月上旬のシーズン中は、プレーで各地を転々と、家にいるのは週一日。ですから今は、家族団らんをしながら練習に励んでいます。鈴木さんは「地道に努力すれば、チャンスは必ず来る。ことしは優勝をねらいたいね」ときっぱり。



鈴木弘一さん



遠藤まゆみさん

ママのビデオは日本一 富士岡の遠藤まゆみさん

富士岡の遠藤まゆみさんは、昨年、全国のアマチュアビデオの大会「おもしろビデオフェスティバル」に応募し、一位となりました。どちらかと言え、メカは苦手な遠藤さんですが、ビデオ撮影を趣味とする夫光芳さんから、家族の記録用にビデオカメラを渡され、恐る恐る始めたのがきっかけ。ビデオは三人の子供が「台風はどこから生まれるか」をめぐって、けんかした様子を納めた五分物。「ビデオは家族みんなで楽しめていいですよ」と語っていました。

交通安全スローガンに 広見小の中山君の作品

平成元年度に全国で使われる交通安全スローガンに、広見小四年生の中山真二君の作品が、内閣総理大臣賞となりました。

作品は「ほくがさき あせる心は じこのもと」。中山君は「簡単に思いついたことをつくった」ところが、今回の受賞。ふだんは活発な中山君も、決定以来、幾つかの取材にあうなど、環境の変化に目を白黒。三月二十四日には、校長先生やお母さんと東京で行われる表彰式に出席します。なお、富士第二小五年の石川千恵さんも警察庁長官賞を受けました。



中山真二君

富士市のギネス

No.1

県下一の電力消費量



駿河自動制御所

富士市の工業製品出荷額は1兆4,669億円。浜松市に次いで県下第2の出荷額です。工業が盛んということは、動力となる電力使用量も多く、昭和62年度は29億9,100万*ワットに達しました。これは、県内一の使用量です。2位は浜松市の25億1,100万*ワット、3位は静岡市の23億2,000万*ワットです。

また、富士市の電力使用量は、鳥根県や取鳥県より多く、佐賀県とほぼ同量となっています。以前は、山梨県全体と富士市の使用量が同じといわれましたが、山梨県は35億6,100万*ワットで、富士市を上回っています。

いずれにせよ富士市は、電力の大消費地といえます。



創造の世界を楽しむ

「時の雫」の皆さん

「いろいろな学校の高校生が集まって、なんだか難しそうなことを熱心にあつてよ」という話を聞いて、おじやましたのが「時の雫」の皆さん。さて、高校生を夢中にさせる物とは何なのでしょ……。

「ロールプレイングゲーム」と聞いても、はて？と首をかしげる皆さんが多いのではないかと思います。一般的には、ファミコンの「ドラゴンクエスト」や「ゼルダの伝説」の様なゲームをいいますが、時の雫のメンバーが行っているゲームは、その上をいくもの。つまり、ゲームの主人公となつてなぞを解いたり戦いを進めるのは同じですが、ファミコンを相手とするのではなく、自分たちの創造力でゲームをつくり解いていくもの。種類はファンタジーやオカルト・SFなどいろいろありますが、主に世界史の中世を舞台にしたゲームをつくっています。代表者の浦山昭彦君（富士東高一年）は「史実に基づいた作品の方が奥行きが深くなり、おもしろい」と語ります。

ですから、月二回、富士公民館を会場にした定例会では、ゲームを解くばかりでなく、中世の歴史や神話などをこと細かく勉強しています。メンバーは富士地区の高校生を中心に十五人。例会には二十〜三十人が集まります。

ワイワイにぎやかな定例会



「ゲームを始める」と周囲のことを忘れて、創造の世界にのめり込んでしまおう」と浦山君は魅力を語ります。挑戦してみたい人は浦山君へ ☎六三〇六四一。